

## 府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（京都市域） 開催結果

日 時 平成21年6月2日（火） 10:00～11:30

場 所 府庁西別館 4階大会議室A

委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）  
京都商工会議所産業振興部長 北富 洋二  
京都市建設局長 山崎 糸治（代理出席 大島建設局担当部長）  
京都府総務部長 太田 昇  
京都府建設交通部長 安藤 淳  
京都府教育委員会管理課長 石田 斉（代理出席 玉井管理課参事）  
京都府警察本部交通規制課長 川村 猛

### 1 提案状況の報告について

5月29日時点の応募状況について報告

- ・ 京都市域 60件（うち警察関係38件）
- ・ 府内全域 248件（うち警察関係95件）

### 2 事業実施報告について

市町村既要望分の事業20件について実施報告し、全件実施が適当と認められた。

- ・ 農林水産部関係 1件
- ・ 建設交通部関係 4件
- ・ 警察関係 15件

### 3 委員の主な意見について

- ・ 信号機はLED式を導入するのか。  
→信号機の新設は全てLED式を導入。費用は3倍となるが、消費電力の削減、信号機の長寿化、視認性の向上などの効果がある。
- ・ 河川の護岸工事などについては、景観、環境にも配慮してもらいたい。
- ・ 今回の案件は、全て市町村からの要望に基づくものか。  
→全て市町村からの要望。府民からいただいた提案と重複している案件もある。
- ・ 京都市内の信号機の設置等については、道路整備などとも関連してくるので、京都府警、京都市と協力して取り組んでいきたい。
- ・ 河川の現状など、府民と現地調査を行い、危険箇所を確認してもらうような取組を行うのはどうか。
- ・ 技術審査項目の中で、地域づくりとの整合性についての評価基準は？  
→市町村の事業計画や要望などと整合がとれているかどうかを評価する。